

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★D23 - 6 - 1
要綱上の事業名称	(6) 公共・公益施設整備調査事業
細要素事業名	下水道被災管路復旧マッピングシステム構築事業

○事業概要、基幹事業との関連性

東日本大震災により被災した下水道管路及びマンホール施設の復旧・復興の状況について、進捗管理及び情報共有のためのデータベースを整備する。

被災した管路の状況（被災管路の区間、被災状況写真、被災調査結果、マンホール浮上箇所等）や、修繕履歴、下水管入替履歴など、被災後から本格復旧に至るすべての情報をデータベース化することにより、今後の被害予測や再び震災が発生した際の迅速な被害調査、復旧・復興工事の着手が可能となるほか、工事等の進捗管理や、庁内情報を共有する手段として構築できることが、当町復興計画に掲げる「災害に強く安心、安全に暮らせるまち」を実現に近づけることができる。

このような事業の推進が、被災者の再建先を決定する判断の一つとなり、新たに造成する新市街地を希望する方や、町内に留まる方の増加に寄与することで、被災した地区に居住していた住民を安全な場所に集団的に移転させることができるため、防災集団移転促進事業の効果を促進させることができる。

○事業の内訳

○下水道被災管路復旧マッピングシステム構築業務委託

- ・下水道調査
  - 計画準備
  - 資料収集
  - 管路調査
  - マンホール調査
- ・管路情報デジタル入力
  - 管路・マンホール・公共柵 データ入力
  - 竣工図スキャニング
- ・属性情報入力
  - 管路属性
  - マンホール属性
  - 復旧情報 他